

部活動で人間性を育む

広州日本人学校の中学部では、毎週水曜日と木曜日の放課後に部活動を行っています。中学部1年生から3年生の生徒は、全員が「野球部」「男子バスケットボール部」「女子バスケットボール部」「サッカー部」「バドミントン部」「バレーボール部」「音楽部」のいずれかに所属しています。部活動を通してその活動の楽しさを味わうだけでなく、先輩や後輩とのつながりの中で様々なことを学び、生涯の礎となる人間性を養っています。

今年度は、昨年度には部員がいなかった野球部にも部員が加入しました。現在、野球部は、部員が3人しかいません。人数は少ないですが、3人の生徒たちが自身で活動を充実したものにしようと練習メニューを考え、技術力の向上を目指しています。併せて、友だちとの関わり方やマナーなども身に付け、野球を通して人間性豊かな生徒の育成に努めています。来年度は部員の数が増えて、活動がさらに幅広くなっていくことを期待しています。

各部活動は10月まで、中学部3年生が部長として活動を引っ張ってきました。しかし、中学部3年生たちの入試本番が近づくことから引退となりました。11月からは、中学部2年生たちが先輩たちからの熱い思いを引き継ぎ、活動を引っ張っています。毎週水曜日と木曜日の放課後は、校内で活発な声が飛び交っています。



避難訓練で意識の醸成

広州日本人学校では、今年度は9回の避難訓練を計画しています。避難訓練は、「火災」や「地震」のような内容から、「不審者が校内に侵入した場合の保護者への引き渡し訓練」や「通学中のバス乗車時のトラブル」を想定したものもあります。同じ内容で複数回実施するものもあります。それぞれの避難訓練では、児童生徒一人一人がどのように行動すべきかを指導し、それを踏まえて実施し、自分を振り返ることを繰り返しています。子どもたちは、考えながら行動することが身についており、回数を重ねるごとに意識の高まりがみられます。実施後の振り返りでは、反省と共に、次はどのように行動すべきかなど自分自身を顧みて、危機意識の醸成を図っています。

避難訓練の内容が、実際には起こらないことが一番です。しかし、万が一が起こってしまった時は、避難訓練の経験を活かして行動して欲しいと願っています。

